2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	作業療法評価学Ⅱ-①	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(3)　時間(単位)
対象学年	2年	学期及び曜時限	前期	教室名	機能訓練室、木工室、403号室
担当教員	オムニバス (大島、石橋、本家、杉田)	実務経験とその関連資格	作業療法士として身体障害者領域・精神障害領域・老年期障害領域で勤務し、作業療法評価・治療を経験してきた。生活行為向上マネジメント基礎研修修了。		

《授業科目における学習内容》

2年次の最後から3年次にかけて行われる臨床実習では、それまでに学習した専門基礎科目・専門科目の内容を踏まえた知識・技術の統合が実践的な場で図られる。また、専門職業人の適性・態度と一社会人としての基礎力(リテラシーとコンピテンシー)が問われることとなる。本科目ではこれらの臨床能力を高めるため、神経心理学的検査や整形外科的検査、その他の身体機能面の評価や能力面の評価、観察による分析評価などについて、講義・実技・演習を通した学習を行っていく。

《成績評価の方法と基準》

レポート課題74%、筆記試験26%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

■教科書: 標準作業療法学　専門分野　作業療法評価学 [第3版] (医学書院)、DVD　Series2　PT・OTのための測定評価　形態測定・感覚検査・反射検査 [第2版] (三輪書店)、DVD　Series5　PT・OTのための測定評価　バランス評価 [第2版] (三輪書店)、DVD　Series6　PT・OTのための測定評価　整形外科的検査 (三輪書店)、DVD　Series7　PT・OTのための測定評価　片麻痺機能検査・協調性検査

《授業外における学習方法》

基本的に次の通り。
【事前学習】課題・学習内容の確認。評価の目的や方法の確認を行っておく。
【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題がある場合には課題を実施。

《履修に当たっての留意点》

・次回学習内容に予め目を通しておくこと。
・服装や身だしなみに関しては臨床実習に準ずるため、KC忘れの場合は、授業の聴講はできるが実技には参加できない。

回	授業の方法		内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	①QOLと作業遂行の評価について説明・実施できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】シラバス内容を確認しておく。(20分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(40分)
		各コマにおける授業予定	**QOLと作業遂行の評価** 代表的なQOL評価を再確認し、作業遂行に関する評価(興味・関心/役割チェックリスト、ADOC、OSA-Ⅱ、OQ、VQ、OPHI-3、COPMなど)について学習する。		
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	②形態計測・測定、筋緊張の評価、痛みの評価について説明・実施できる。	教科書、配布資料(石橋)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分)　次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)
		各コマにおける授業予定	**形態計測・測定、筋緊張の評価、痛みの評価　①** 形態計測・測定、筋緊張の評価、痛みの評価について学習する。		
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	②形態計測・測定、筋緊張の評価、痛みの評価について説明・実施できる。	教科書、配布資料(石橋)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分)　次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)
		各コマにおける授業予定	**形態計測・測定、筋緊張の評価、痛みの評価　②** 形態計測・測定、筋緊張の評価、痛みの評価について学習する。		
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	②形態計測・測定、筋緊張の評価、痛みの評価について説明・実施できる。	教科書、配布資料(石橋)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分)　次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)
		各コマにおける授業予定	**形態計測・測定、筋緊張の評価、痛みの評価　③** 形態計測・測定、筋緊張の評価、痛みの評価について学習する。		
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	③脳神経検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分)　次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)
		各コマにおける授業予定	**脳神経検査①** 脳神経検査について学習する。		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	③脳神経検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料（本家）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**脳神経検査②** 脳神経検査について学習する。		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	③脳神経検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料（本家）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**脳神経検査③** 脳神経検査について学習する。		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	④感覚・知覚検査、反射検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料（大島）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**感覚・知覚検査、反射検査（腱反射、表在反射、病的反射） ①** 感覚・知覚検査、反射検査について学習する。		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	④感覚・知覚検査、反射検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料（大島）	【事前学習】課題内容の確認と遂行。（30分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理し、記録を行う。（30分）
		各コマにおける授業予定	**感覚・知覚検査、反射検査（腱反射、表在反射、病的反射） ②** 感覚・知覚検査、反射検査について学習する。		
第10回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑤姿勢反射、バランス反応の評価について説明・実施できる。	教科書、配布資料（大島）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**姿勢反射、バランス反応 ①** 姿勢反射、バランス反応の評価について学習する。		
第11回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑤姿勢反射、バランス反応の評価について説明・実施できる。	教科書、配布資料（大島）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**姿勢反射、バランス反応 ②** 姿勢反射、バランス反応の評価について学習する。		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑥片麻痺機能検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料（大島）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**片麻痺機能検査（BRS検査など） ①** 片麻痺機能検査について学習する。		
第13回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑥片麻痺機能検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料（大島）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**片麻痺機能検査（BRS検査など） ②** 片麻痺機能検査について学習する。		
第14回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑦協調性の評価について説明・実施できる。	教科書、配布資料（専任教員）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**協調性の評価 ①** 協調性の評価について学習する。		
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑦協調性の評価について説明・実施できる。	教科書、配布資料（専任教員）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**協調性の評価 ②** 協調性の評価について学習する。		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	作業療法評価学Ⅱ-②	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	前期	教室名	機能訓練室、木工室、403号室
担 当 教 員	オムニバス (大島、石橋、本家、杉田)	実務経験とその関連資格	作業療法士として身体障害者領域・精神障害領域・老年期障害領域で勤務し、作業療法評価・治療を経験してきた。生活行為向上マネジメント基礎研修修了。		

《授業科目における学習内容》

2年次の最後から3年次にかけて行われる臨床実習では、それまでに学習した専門基礎科目・専門科目の内容を踏まえた知識・技術の統合が実践的な場で図られる。また、専門職業人の適性・態度と一社会人としての基礎力(リテラシーとコンピテンシー)が問われることとなる。本科目ではこれらの臨床能力を高めるため、神経心理学的検査や整形外科的検査、その他の身体機能面の評価や能力面の評価、観察による分析評価などについて、講義・実技・演習を通した学習を行っていく。

《成績評価の方法と基準》

レポート課題74%、筆記試験26%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

■教科書: 標準作業療法学　専門分野　作業療法評価学［第3版］（医学書院）、DVD　Series2　PT・OTのための測定評価　形態測定・感覚検査・反射検査［第2版］（三輪書店）、DVD　Series5　PT・OTのための測定評価　バランス評価［第2版］（三輪書店）、DVD　Series6　PT・OTのための測定評価　整形外科的検査（三輪書店）、DVD　Series7　PT・OTのための測定評価　片麻痺機能検査・協調性検査

《授業外における学習方法》

基本的に次の通り。
【事前学習】課題・学習内容の確認。評価の目的や方法の確認を行っておく。
【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題がある場合には課題を実施。

《履修に当たっての留意点》

・ 次回学習内容に予め目を通しておくこと。
・ 服装や身だしなみに関しては臨床実習に準ずるため、KC忘れの場合は、授業の聴講はできるが実技には参加できない。

	授業の方法		内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑧整形外科的検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料(専任教員)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分)　次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)
		各コマにおける授業予定	**整形外科的検査①** 整形外科的検査について学習する。		
第17回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑧整形外科的検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料(専任教員)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分)　次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)
		各コマにおける授業予定	**整形外科的検査②** 整形外科的検査について学習する。		
第18回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑨パフォーマンステスト、運動機能検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分)　次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)
		各コマにおける授業予定	**パフォーマンステスト、運動機能検査** 片脚立位、TUG、MWS、6MWT、FR、FBSなどの機能的バランスや持久力の評価について学習する。		
第19回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑪心理学的検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分)　次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)
		各コマにおける授業予定	**上肢機能評価** STEF、MFTなどの上肢機能評価について学習する。		
第20回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑪心理学的検査について説明・実施できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分)　次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)
		各コマにおける授業予定	**上肢機能評価** STEF、MFTなどの上肢機能評価について学習する。		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑫知能検査・神経心理学的検査について説明・実施できる。	教科書、 配布資料 （石橋）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**知能検査・神経心理学的検査①** MMSE、HDS-R、KBDT、WISC、WAIS-Ⅲなどの知能検査・神経心理学的検査について学習する。		
第22回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑫知能検査・神経心理学的検査について説明・実施できる。	教科書、 配布資料 （石橋）	【事前学習】前回の学習内容の復習。（5分） 次回学習内容に予め目を通しておく。（10分） 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。（45分）
		各コマにおける授業予定	**知能検査・神経心理学的検査②** MMSE、HDS-R、KBDT、WISC、WAIS-Ⅲなどの知能検査・神経心理学的検査について学習する。		
第23回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑬観察による姿勢分析とその記録ができる。	教科書、 配布資料 （石橋）	【事前学習】次回学習内容に予め目を通してお（10分）
		各コマにおける授業予定	**姿勢分析** 観察による姿勢分析とその言語化（記録）について学習する。		
第24回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑭観察による動作分析とその記録ができる。	教科書、 配布資料 （石橋）	【事後学習】資料整理と復習。要点整理。分析課題を進める。（110分）
		各コマにおける授業予定	**動作分析** 床上動作などの基本動作を分析課題として、観察による動作分析とその言語化（記録）について学習する。		
第25回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑮観察による運動分析とその記録ができる。	教科書、 配布資料 （本家）	【事前学習】次回学習内容に予め目を通してお（10分）
		各コマにおける授業予定	**運動分析①** 動作を構成する関節運動と関与している筋の収縮様式について再確認し、観察による運動分析を学習する。		
第26回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑮観察による運動分析とその記録ができる。	教科書、 配布資料 （本家）	【事後学習】資料整理と復習。要点整理。分析課題を進める。（110分）
		各コマにおける授業予定	**運動分析②** 動作を構成する関節運動と関与している筋の収縮様式について再確認し、観察による運動分析を学習する。		
第27回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑯観察によるバランス反応の分析ができ、その記録ができる。	教科書、 配布資料 （大島）	【事前学習】次回学習内容に予め目を通してお（10分）
		各コマにおける授業予定	**バランス反応の分析①** バランス反応の検査を分析課題として、観察による姿勢・動作・運動分析とその言語化（記録）について学習する。		
第28回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑯観察によるバランス反応の分析ができ、その記録ができる。	教科書、 配布資料 （大島）	【事後学習】資料整理と復習。要点整理。分析課題を進める。（110分）
		各コマにおける授業予定	**バランス反応の分析②** バランス反応の検査を分析課題として、観察による姿勢・動作・運動分析とその言語化（記録）について学習する。		
第29回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑰作業分析と工程分析について説明でき、その記録ができる。	教科書、 配布資料 （専任教員）	【事前学習】次回学習内容に予め目を通してお（10分）
		各コマにおける授業予定	**作業分析と工程分析①** 作業分析について再確認し、「作業」の構成要素と最小単位について考える。また、工程分析について学ぶ。		
第30回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑰作業分析と工程分析について説明でき、その記録ができる。	教科書、 配布資料 （専任教員）	【事後学習】資料整理と復習。要点整理。分析課題を進める。（110分）
		各コマにおける授業予定	**作業分析と工程分析②** 作業分析について再確認し、作業を構成する最小単位について考える。また、工程分析について学ぶ。		